第 368 回「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

聞くには早く、語るには遅く ～ 安心できる場所 ～

2025 年 12 月 2 日 筆者は、新渡戸稲造(1862-1933)記念センターから、第 131 回『メデイカル・カフェ＠よどばし』(淀橋教会に於いて) に赴いた。 恒例の『365 日の紙飛行機』(作詞:秋元康,作曲:角野寿和・青葉紘季)の熱唱で始まった。今回は､『赤鼻のトナカイ』(作詞:新田宣夫,作曲:MARKS JOHN D)の合唱で終えた。【だれでも、聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい。 人の怒りは、神の義を実現するものではありません。】(ヤコブの手紙第 1 章 19 節-20 節)と【有島武郎 (1878 年 3 月 4 日-1923 年 6 月 9 日) の幼少期の体験に基づく小説(童話)単行本『一房の葡萄』(1922 年)】が蘇った。 大変有意義な貴重な時となった。

第 8 回日本 medical village 学会(2026 年 2 月 14 日 横浜市)
第 9 回日本地域医療連携システム学会(2026 年 2 月 15 日 宇治市)
第 9 回日本 medical village 学会(2026 年 3 月 15 日 滋賀県)
チラシが送られて来た(画像)

【『日本 Medical Village 学会』設立の目的は、患者さんが最期まで安心して暮らすことが出来る場所(Medical Village)を地域に創ることです。 『Medical Village』とは、患者さんを癒すことのできる村です。 患者さん本人だけでなく、本人に関わる家族や友人や、本人を支援する医療や介護の従事者にとっても安心できる場所になることを目標にします。】

【『日本地域医療連携システム学会』は、地域医療分野の総合的な連携を推進し、特に在宅医療ネットワークを構築・整備することを中心とした事業を行うことです。 樋野興夫理事長を中心に、医師や看護師・コメディカルの情報共有の場として積極的に活動し、より強固なチーム医療を提供することを目的としています。 そのために国内外問わず、関連学会や地域医療推進事業団体と積極的な交流を目指します。 より良い医療・介護を提供するために教育活動を行い、いかに効率よく、かつ安全に遂行できるか、研究、調査を行う場となるよう取り組んでいきます。】と 新渡戸記念中野総合病院の HP には、紹介されている。

横浜がん哲学外来18周年＆第8回日本Medical Village学会
合同シンポジウム

いい覚悟で生きる

14:10～14:40
基調講演
『言葉の処方箋』
樋野興夫 先生

2026
2/14(土)
開場13:30 開演14:00

参加費無料
定員300名

プロフィール
一般社団法人 がん哲学外来 名誉理事長
順天堂大学名誉教授、新渡戸稲造記念センター長
日本 Medical Village 学会　理事長
主な著書：
「「いい覚悟で生きる」
「「われ21世紀新渡戸とならん」など多数

横浜開港記念館
みなとみらい線「日本大通り駅」
1番出口 目の前

14:40～15:00 樋野先生へがん哲学外来の
発祥・開港についてのインタビュー
（インタビュアー　三国浩晃）
14:05～14:10 横浜開港発祥の説明
秋月隼人（「のんきなカチガラス」）

15:15～15:55
パネルディスカッション：院外で初めて発祥の地・横浜
【進行係】　三国浩晃
【パネラー】溝口　修　東鷲宮聖書フォーラム代表(元横浜がん哲学外来代表)
陣川チヅ子　ふれあいの家居宅介護支援ステーション管理者
糸川幸杞　ケアーショップアイ・ティー・オー専務取締役(元横浜がん哲学外来副代表)
内田由美子　廣(株)代表　和み訪問看護ステーション(現横浜がん哲学外来・カフェ代表)

主催：第8回日本Medical Village学会(大会長 内田由美子)
横浜がん哲学外来・カフェ(代表 内田由美子)
共催：一般社団法人 がん哲学外来
協賛：廣(株)和み訪問看護ステーション・訪問看護ステーションぶどう
NPO法人 人生まるごと支援

申込QRコード

お問合せ電話
03-3453-6210（NPO人生まるごと支援）

第9回
日本地域医療連携システム学会
～地域で支える介護とその基盤となる哲学と保健行政～

in京都
宇治市

2026年
2月15日（ 日）
13： 30～16： 30

会場　宇治市産業会館
大会議室（ 予定）

大会長　京都府立医科大学
教授　武藤倫弘

☆会場アクセス☆
〒611-0021
京都府宇治市宇治琵琶45番地13 3階

特別講演
「 心を支えるがん哲学（ 仮）」
順天堂大学名誉教授　日本地域医療連携システム学会理事長
樋野 興夫 先生

基調講演1
「 京都府の地域医療連携・ 包括ケアシステム（ 仮）」
京都府健康福祉部統括保健師長　川口 秀子 先生

基調講演2
「 こんなにも頼れる保健所と公衆衛生の力（ 仮）」
山城広域振興局健康福祉部部長　山城北保健所長　重見 博子 先生

どなたでも参加可
申込不要

その他ご講演
「 現場で支える医療従事者の声（ 仮）」
2名～3名程度の先生にご講演いただく 予定です

問合せ先：京都府立医科大学　大学院医学研究科　分子標的予防医学　075-251-5338

三方よし研究会市民公開講座

主催　NPO法人三方よし研究会　後援　東近江市

第9回
Medical Village学会
事前申込不要・どなたでも参加可

2026年3月15日（日）
13:00～16:00

会場　能登川コミュニティセンター
滋賀県東近江市躰光寺町262番地

大会長　三方よし研究会実行委員長
花戸　貴司

講演ゲスト
・順天堂大学
樋野　興夫　先生
・滋賀県がん患者団体連絡協議会　会長
菊井　津多子　氏
・写真家
國森　康弘　氏

「写真絵本シリーズ『いのちつぐ「みとりびと」』（農文協、全12巻）より」

問い合わせ先　三方よし研究会実行委員会　clinic.eigenji@gmail.com